

令和6年度 油日学区

## 避難所設置訓練の実施結果と反映事項

日時：令和6年12月7日(土) 8時30分～12時15分

場所：市立油日小学校 体育館、運動場

参加：141名



主催箇所：油日自治振興会      連携箇所：油日学区防災士会  
協力箇所：甲賀市危機管理課、甲賀市立油日小学校  
参加団体：各区・自治会、各区防災組織、油日学区民生委員・児童委員  
油日学区健康推進員、甲賀市社会福祉協議会  
日赤奉仕団甲賀支部油日学区  
甲賀市消防団甲賀方面隊第2分団・第4分団      (順不同)

※油日自治振興会は、市立油日小学校区の9つの区(3,391人)で構成されています



## 避難所設置訓練の実施経緯



避難所って住民で運営するのよね。

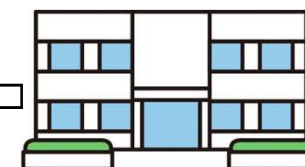
具体的に区や自治振興会は何をすればいいの？

令和5年9月 区長、自治振興会役員勉強会  
避難所運営について研修  
段ボール間仕切り、小型 TENT 等組立体験



出前講座

市危機管理課



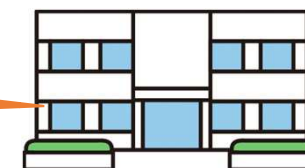
避難所運営マニュアルが整備されていたのか！

でも、実際に避難所が出来た時、このとおりできるのかなあ・・・

避難所設置訓練をやってみませんか  
お手伝いしますよ

お誘い

市危機管理課



自治振興会

防災士

これまで大規模な訓練の経験がないので、学区の防災士と相談。

“まずはやってみる” こととした。

【ねらい】・有事に役立つ経験者の拡大

・避難所設置における課題を洗い出す(含む女性目線)



# 避難所設置訓練の準備

## 企画会議 2 回と運営会議 3 回を実施

3月22日 前年度実施の「かしわぎ自治振興会」へ実施状況聴取  
【自治振興会執行部】

◎前年度実施の「かしわぎ自治振興会」さんに話を聴くことで、訓練全体のイメージができた。

4月10日 第1回打合せ（訓練概要、今後のスケジュール）  
【防災士（代表）、自治振興会執行部】

7月12日 第1回企画会議（避難所レイアウト）  
【防災士（全員）、自治振興会執行部、市危機管理課、小学校】

8月21日 第2回企画会議（タイムテーブル、参加者）  
【防災士（全員）、自治振興会執行部、市危機管理課、小学校】

9月25日 第1回運営会議（実施要領、訓練内容・タイムテーブル、参加者、担当）  
【防災士（全員）、自治振興会執行部、専門部部長、市危機管理課、小学校、各区・防災組織役員、各団体代表】

11月19日 第2回運営会議（詳細打合せ、間仕切り・小テント組立等を体験）  
【全関係者】

◎関係団体の代表の方から声掛けいただき、多くの方に参加いただけた。

12月 6日 前日準備（自治振興会、防災士、小学校）

12月 7日 避難所設置訓練 実施

1月16日 第3回運営会議（訓練の検証、次回訓練の検討、今後の学区防災体制）  
【防災士（全員）、自治振興会役員他、市危機管理課、小学校、各団体代表】



## 避難所設置訓練の準備 トピックス

企画会議で、避難所レイアウトを作成。

訓練は体育館の居住スペース設置だが、避難所全体のレイアウトも作成。

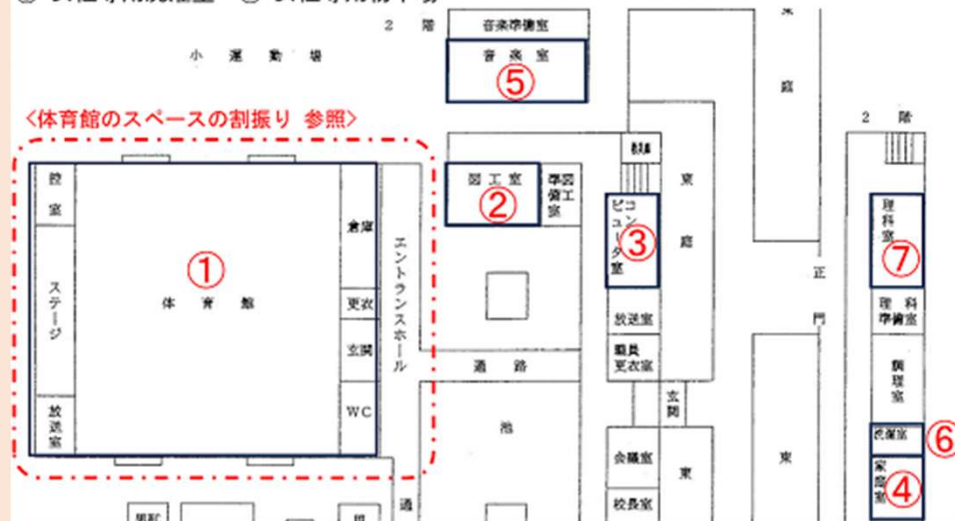


◎ 毎回、小学校校長先生が会議に参加くださり、どの場所が適切かよく分かった。

マニュアルを参考に、

女性目線・弱者目線でレイアウト

- ① 居住スペース、運営委員会本部、更衣室(男、女)、授乳室、物資保管場所
- ② キッズスペース ③ 救護室 ④ 発熱者向けの部屋 ⑤ 乳幼児・妊婦室
- ⑥ 女性専用洗濯室 ⑦ 女性専用物干場





# 避難所設置訓練の実施（避難所設置）



運動場に非常持出袋を持って集合

非常持出袋(防災リュック等)持参の参加者に防災用品を1点プレゼント

●残念ながら持参者が少なかった



市職員さんによる説明・指導



ブルーシートで居住区設定



間仕切り等の資機材を組立て



防災士による説明

●手際良かったが、特定の人が組立て、経験できない方がいた



避難所設置状況



早速 活用





## 避難所設置訓練の実施（避難所体験）

避難所で経験することを、いくつか体験しました。



受付体験・避難者体験



ガス発電機取扱



新聞紙スリッパ作り



市防災倉庫見学

● 受付場所が狭かった

● 新品はエンジンオイルが入っていない



防災かまどベンチで炊出し アルファ米山菜おこわ 試食

● 山菜おこわ好評でした



市職員さんによる非常持出品の説明

● 人だかりが絶えませんでした



## 避難所設置訓練のアンケート結果

◎多くの方に意見を寄せていただいた

### 訓練全般



概ね満足いただけた。

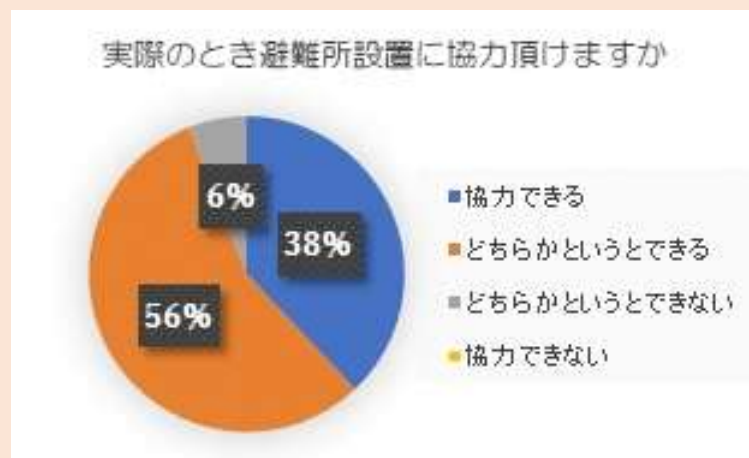
○良い経験ができた

○防災について再認識した

×寒かった（同種意見多数）

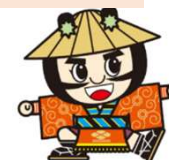
×体験できない項目があった

### 【ねらい1】 有事に役立つ経験者の拡大



9割以上の方が協力的であることが分かった。

どちらかというところ協力できない理由として、  
高齢者が家族にいるためがあった。



## 避難所設置訓練のアンケート結果の反映

### 【ねらい2】 避難所設置における課題を洗い出す（含む女性目線）

- 受付を体育館のホール（入ったところ）としていたが、狭隘であり避難所開設初期の多人数の避難者を受け付けるには無理がある。

→ 受付を体育館外の下駄箱前とし、机も2脚から4脚に増やす。

- 乳幼児・妊婦室を校舎2階（音楽室）としていたが、階段の昇降を伴う。

→ 1階のキッズスペース（図工室）と入替える。

（季節によっては寒いので柔軟に対応）

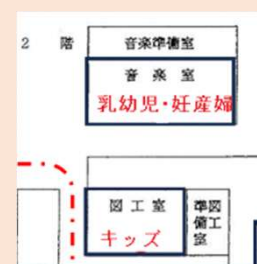
- 受付で使用するレイアウト図の向きが分かり難い。

→ 体育館入口から見たレイアウトに修正する。

- 外国人受付用の多言語指さしボードがA4版で字が小さく見難い。

→ A3版に見直す。

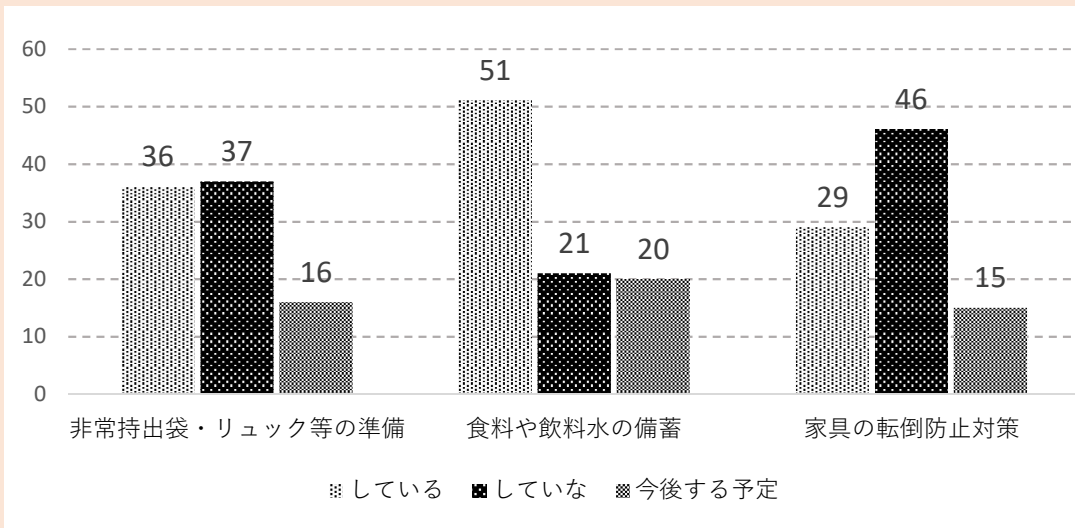
※体育館シートは、冬季の冷えの緩和やクッションとしての効果が見込めることから、開設時には可能な限り全面に敷くこととしたい。



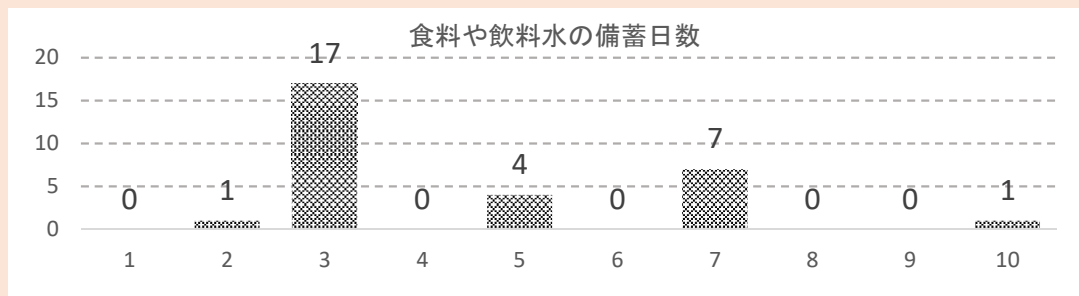


## 避難所設置訓練のアンケート結果（参考）

### 個人の非常時への備え



非常時への個人の備えが進んでいないことが分かった。



備蓄日数は3日が多い。

◎自治振興会、防災士で、**更なる個人の非常時への備えを啓発**していく。



## 避難所設置訓練を終えて

- 避難所運営マニュアルに沿って実施することで、スムーズに避難所設置ができた。  
同時に、経験しておくことが大切であると、多くの参加者が実感した。
- 避難所運営のための準備が不足していた。  
これを機に避難所で必要となる事務用品や帳票類(避難者カード等)を整備した。
- 訓練が参加者の防災に対する気付きにつながった。  
後日、ひとつの区が非常持出品について「防災出前講座」を受講した。
- 避難所運営委員会が開催されるまでの間は、自治振興会が中心となることとした。
- 今後は隔年で同様の訓練を実施することとした。

今回、市危機管理課さん、小学校さんには、全面的にご協力いただきました。  
また、参加各団体さんからの声掛けにより、多くの参加を得ることができました。  
あらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

